

高知県の海岸における繁殖期のチドリ類の生息状況

楠瀬雄三 (エコシステムリサーチ/ひとはく地域研究員) ・
谷岡仁 (香美市) ・福井亘 (京都府立大学大学院生命環境科学研究科)

はじめに

長い海岸線を有する高知県にはチドリ類の繁殖地となる海岸が多く存在しているものの、どの海岸にチドリ類が繁殖しているかについての情報はほとんどない。県下で繁殖の可能性のあるチドリ類はイカルチドリ、コチドリ、シロチドリと考えられるが、これらはいずれも絶滅危惧種に指定されており、繁殖の状況を把握する必要性の高い種群である。そこで本研究では県下の海岸を調査し、繁殖期におけるチドリ類の生息状況について調べた。

方法

県下の海岸を対象にして、事前に地形図や航空写真でチドリ類の繁殖の可能性のある海岸を抽出し調査地とした。調査地の海岸を歩きながらルートセンサス法で確認されたチドリ類を記録した。チドリ類が確認された場合にはルートセンサス終了後にチドリ類の行動を観察し、抱卵の有無を確認した。なお、チドリ類が確認された場合でも抱卵の調査を行わなかった海岸もある。調査時期は、チドリ類の繁殖期にあたる4月から6月までとし、2018年と2019年に調査した。

結果

事前調査の結果、東は東洋町白浜から西は宿毛市脇本海岸まで45カ所の海岸を調査対象として選んだ。ルートセンサス調査の結果、20カ所でチドリ類が確認された(表)。このうち、イカルチドリは1カ所で成体と抱卵が確認された。コチドリは7カ所で確認され、このうち7カ所で成体が、1カ所でそれぞれ雛と抱卵が確認された。シロチドリは12カ所で確認され、このうち、12カ所で成体が、2カ所で雛が、1カ所で抱卵が確認された。

表 確認されたチドリ類

| 番号 | 調査地 | 調査日 | チドリ類の確認 | 状態 | 数 |
|----|--------------|------------|---------|----|---|
| 1 | 黒潮町佐賀鹿島ヶ浦 | 2019年5月11日 | イカルチドリ | 成体 | 1 |
| | | | | 卵 | 4 |
| 2 | 東洋町生見海岸 | 2018年5月29日 | コチドリ | 成体 | 3 |
| | | | | 雛 | 1 |
| 3 | 東洋町野根海岸 | 2018年5月29日 | コチドリ | 成体 | 4 |
| 4 | 香南市夜須町手結海岸 | 2018年5月31日 | コチドリ | 成体 | 2 |
| 5 | 高知市種崎海岸 | 2018年4月30日 | コチドリ | 成体 | 1 |
| | | | | 卵 | 4 |
| | | 2019年4月22日 | コチドリ | 成体 | 1 |
| 6 | 芸西村琴ヶ浜 | 2019年5月2日 | コチドリ | 成体 | 2 |
| | | 2019年5月27日 | コチドリ | 成体 | 5 |
| 7 | 須崎市新莊川河口 | 2019年5月31日 | コチドリ | 成体 | 1 |
| 8 | 四万十市下田青砂島 | 2019年4月20日 | コチドリ | 成体 | 2 |
| 9 | 東洋町白浜 | 2018年5月29日 | シロチドリ | 成体 | 1 |
| 10 | 土佐清水市大岐の浜 | 2019年4月8日 | シロチドリ | 成体 | 4 |
| 11 | 土佐清水市下ノ加江 | 2019年4月8日 | シロチドリ | 成体 | 5 |
| 12 | 土佐市宇佐町人工砂州 | 2019年4月12日 | シロチドリ | 成体 | 5 |
| | | 2019年4月22日 | シロチドリ | 成体 | 4 |
| | | | | 卵 | 4 |
| 13 | 四万十市平野の浜 | 2019年4月20日 | シロチドリ | 成体 | 7 |
| 14 | 四万十市双海サーフビーチ | 2019年4月20日 | シロチドリ | 成体 | 4 |
| 15 | 四万十市出口こまじり浜 | 2019年4月20日 | シロチドリ | 成体 | 9 |
| 16 | 芸西村琴ヶ浜 | 2019年5月27日 | シロチドリ | 成体 | 1 |
| 17 | 黒潮町入野松原 | 2019年5月11日 | シロチドリ | 成体 | 9 |
| 18 | 黒潮町佐賀塩屋ビーチ | 2019年5月11日 | シロチドリ | 成体 | 3 |
| | | | | 雛 | 1 |
| 19 | 四万十町興津小室の浜 | 2019年6月1日 | シロチドリ | 成体 | 3 |
| | | | | 雛 | 2 |
| 20 | 黒潮町入野松原 | 2019年4月20日 | シロチドリ | 成体 | 9 |

おわりに

チドリ類が繁殖する可能性があるものの、未調査の海岸がいくつか残っていることと、今回の調査で成体が確認されたが卵や雛が確認されなかった海岸が多くあるので、これらの海岸について今後も調査を進めていきたい。繁殖が確認された海岸については、各海岸の繁殖成功率を調べ、失敗要因を明らかにすることで、チドリ類の保全に役立てていきたい。